

ホームID	ホーム名		法 人 名			評 価 日		
2837	サクラビア成城		株式会社プライムステージ			H29.1.12		
評価機関	特定非営利活動法人福祉経営ネットワーク					H29.1.27		
評価結果								
スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	B	B	2.3.4	A	A	6.2.1	A	A
1.1.2	B	A	2.3.5	A	A	6.2.2	A	A
1.1.3	A	A	2.3.6	A	A	6.2.3	A	A
1.1.4	A	A	2.3.7	B	B	6.2.4	非該当	非該当
1.2.1	A	A	2.3.8	非該当	非該当	6.2.5	A	A
1.2.2	A	A	2.3.9	B	B	6.2.6	A	A
1.2.3	A	A	2.3.10	B	B	6.2.7	A	A
1.3.1	A	A	2.3.11	A	A	6.2.8	A	A
1.3.2	A	A	2.4.1	A	A	6.2.9	B	B
1.3.3	A	A	2.4.2	A	A	6.3.1	B	B
1.4.1	B	B	2.4.3	B	B	6.3.2	B	A
1.4.2	B	A	2.4.4	A	A	6.3.3	B	B
1.4.3	B	A	2.4.5	A	A	7.1.1	A	A
1.4.4	B	A	2.4.6	A	A	7.1.2	A	A
1.4.5	A	A	3.1.1	A	A	7.2.1	A	A
1.4.6	B	A	3.1.2	A	A	7.3.1	A	A
1.4.7	B	A	3.1.3	A	A	7.3.2	A	A
1.4.8	A	A	3.1.4	B	A	7.3.3	A	A
1.5.1	B	B	3.1.5	A	非該当	7.3.4	A	A
1.5.2	A	A	3.1.6	A	A	7.4.1	A	A
1.5.3	B	B	3.1.7	A	A	7.4.2	A	A
2.1.1	B	A	4.1.1	A	A	7.4.3	A	A
2.1.2	A	A	4.1.2	A	A	7.4.4	A	A
2.2.1	A	A	4.1.3	A	A	7.4.5	A	A
2.2.2	A	A	4.1.4	A	A	7.5.1	A	A
2.2.3	A	A	4.2.1	B	A	7.5.2	A	A
2.2.4	A	B	4.2.2	A	A	7.5.3	A	A
2.2.5	A	A	5.1.1	A	A	7.5.4	A	A
2.2.6	A	A	5.1.2	A	A	7.5.5	A	A
2.2.7	A	A	5.2.1	A	A	7.5.6	A	A
2.2.8	A	A	5.2.2	A	A	7.5.7	A	A
2.2.9	C	C	5.2.3	A	A	7.6.1	A	A
2.2.10	A	B	5.2.4	A	A	7.6.2	A	A
2.2.11	B	C	5.2.5	A	A	7.6.3	A	A
2.3.1	A	A	6.1.1	A	A			
2.3.2	A	A	6.1.2	A	A			
2.3.3	B	A	6.1.3	A	A			

【評価機関の所見】

1. 優れた取り組みと思われる点

スケール	所見
1-3-1	ホーム内で必要とされる情報はグループウェアに集約され、ホルダーごとに階層別閲覧可能なファイルと不可のファイルが区分され格納されている。また、職員はIDとパスワードが付与され、必要なファイルへのアクセスができる。さらに、今年度はシステム導入により、介護記録の電子ファイル化を実施し、効果的な情報共有を行っており、入居者との関わりの時間が増え、残業時間が低減するなどサービス向上と業務の効率化に寄与している。
3-1-6	ホームには、トレーニングルームやリハビリルームがあり、個別の筋力トレーニングやクリニック医師と連携した理学療法士による個別リハビリが受けられる。また、麻雀室・囲碁室・陶芸工作室・シアタールーム・スカイラウンジなどさまざまな共用施設が備えられ、設備をいかすアクティビティのしくみがある。ゆったりと配置された多彩な共用施設は、入居者が自分のしたいことを選べ、豊富なアクティビティの積極的な利用につながっている。
5-1-1	専用のレストランで和食・洋食・中華を中心に日替わり・週替わりメニューなど30種類以上が予約なしで選択でき、入居者は食事を選ぶ楽しみがある。また、恵方巻・ひな祭り御膳など季節のメニューや毎週木曜日に江戸前寿司を取り入れる他、ご飯の炊き具合やお茶の温度など入居者一人ひとりの嗜好にも配慮して提供している。さらに、出汁にこだわり、塩分を減らしても美味しい食事が提供できるように日々入居者のために取り組んでいる。
7-6-1	ホームの4階に併設しているクリニックは、内科・循環器科・消化器内科・眼科・皮膚科等診療科目も豊富で、高度医療提供機関と連携した医師が24時間365日常駐し、何かあれば医師と看護師が居室まで往診するなど、急な体調変化にも対応できる体制が整っている。また、日常のバイタルチェック、診療や健康相談、年2回の人間ドックに加え、夜勤帯にも看護師が配置されており、安心安全な医療体制が整っている。

2. さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点

スケール	所見
1-5-1	入居者の権利擁護については、企業理念・コンプライアンスマニュアルに成文化し、職員研修において周知に努めている。しかし、それらの取り組みについての入居者への周知は十分とは言えず、工夫が必要であろう。また、ホームで検討が進んでいる入居者の加齢によるADLの低下や家族関係の環境変化に伴い、必要とされる権利擁護の質の変化についても、さらなる検討を進め、入居者のニーズに応えられる的確な対応ができるよう期待したい。
2-2-11	退去時の原状回復規程については、入居契約書および重要事項説明書において触れているが、十分とは言えない。入居者の安心を図るためにも、原状回復のマニュアルである国土交通省による「原状回復をめぐるトラブルとガイドライン」、東京都による「賃貸住宅トラブル防止ガイドライン」等を参考に詳細を成文化して、管理規程等で入居者に明示することが求められる。
2-4-3	企業理念の冒頭に「安心と安全」を掲げて事故防止の取り組みに力を入れている。事故発生時は直ちにその日のリーダー・当事者・看護師・ケアマネにより、事故の原因・再発防止策を検討し、インシデントレポートに記録している。また、後日、リーダー等の連絡会・医師も参加する医療会議の議題となり改善策を検討している。しかし、一歩進んだ事故防止のための予防策等は十分検討されているとは言えず、さらなる組織的対応に努められたい。
6-3-1	ホームには、「介護サービスマニュアル」があり、入浴・排泄・褥瘡等の内容がマニュアル化されている。また、介護技術の研修として、外部の移乗介助の研修に参加し、伝達研修を行って職員間で共有している。現在、組織性の研修は実施されているものの、技術面の階層別研修は十分とは言えない。高齢者の心身の特性、介護に関する知識および技術、作業手順等について、経験や能力を踏まえた技術研修の計画的な実施が望まれる。